

# 第41期第2四半期 決算説明資料

2020年5月27日

 **株式**  
**会社 システム情報**  
Value Engagement Partner

# 目次

---

- I. 2020年9月期 第2四半期決算ハイライト
- II. 2020年9月期 業績予想
- III. トピックス
- IV. ソリューションビジネスへの取組み
- V. 中期ビジョン

## 参考資料

- ① 当社の概要
- ② 2020年9月期重点課題



**I . 2020年9月期 第2四半期  
決算ハイライト**

# I-1. 決算概要（連結）

## 連結損益計算書

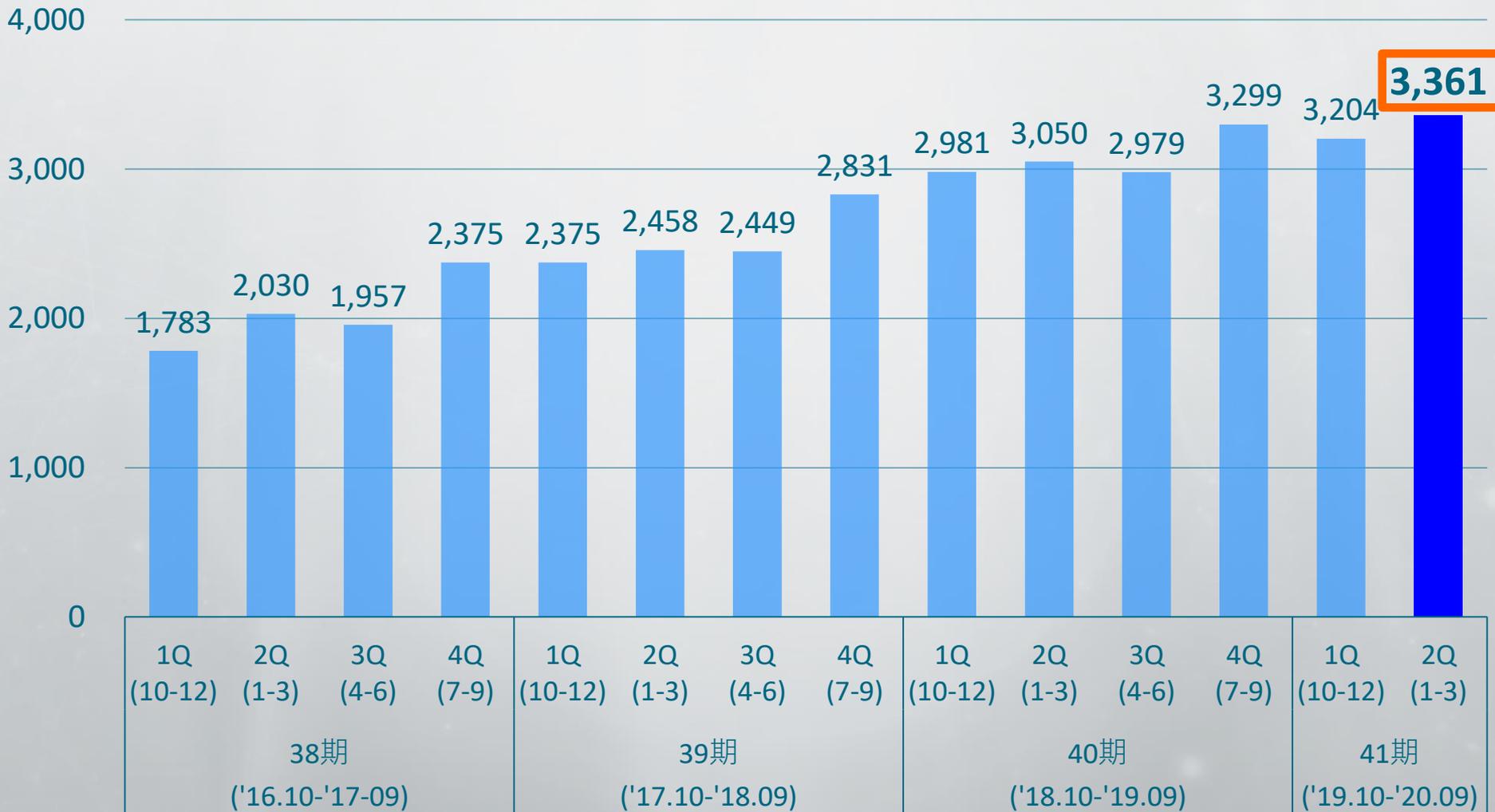
単位：百万円

科目	2019年9月期 第2四半期		2020年9月期 第2四半期		前年 同期比
	金額	売上高比	金額	売上高比	
売上高	6,031	100.0%	<b>6,565</b>	<b>100.0%</b>	<b>8.8%</b>
売上総利益	1,275	21.1%	<b>1,417</b>	<b>21.6%</b>	<b>11.1%</b>
販売費及び 一般管理費	548	9.1%	<b>590</b>	<b>9.0%</b>	<b>7.7%</b>
営業利益	727	12.1%	<b>826</b>	<b>12.6%</b>	<b>13.7%</b>
経常利益	716	11.9%	<b>827</b>	<b>12.6%</b>	<b>15.6%</b>
当期純利益	487	8.1%	<b>557</b>	<b>8.5%</b>	<b>14.4%</b>
1株当たり 当期純利益（円）	20.59	—	<b>23.86</b>	—	<b>15.9%</b>

# I-2-①. 四半期推移

## 四半期売上高推移

百万円



# I-2-②. 四半期推移

## 四半期営業利益・利益率推移



## I-2-③. 決算のポイント

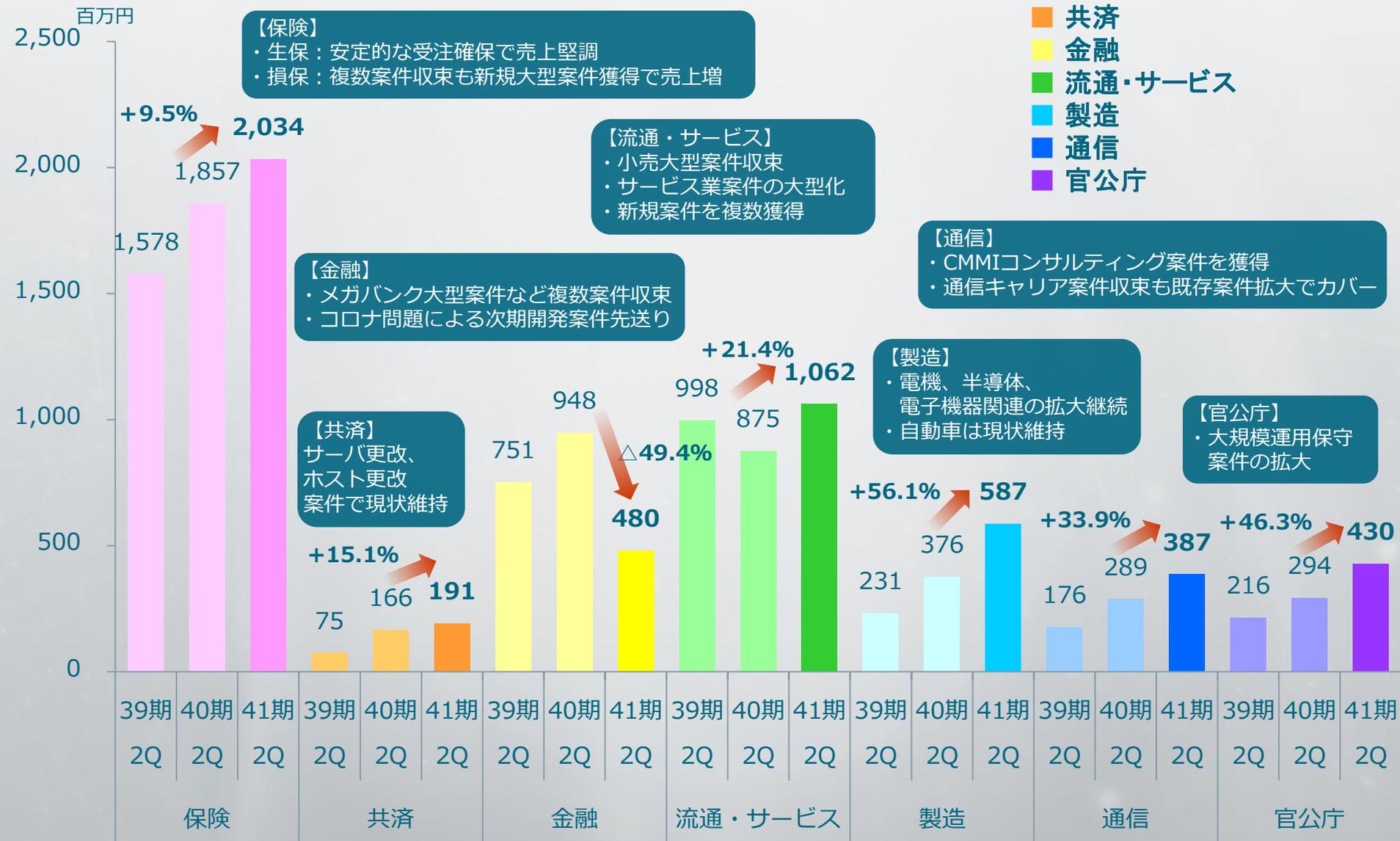
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響は軽微  
(進行中プロジェクトの**中断・延期等は発生せず**)
- ◆ プロジェクト管理の徹底、パートナー企業との連携強化により  
**原価上昇を抑制、粗利率が上昇**
- ◆ 採用費増も他の**販管費を抑制**



前年同期比で利益は二桁台の伸びを達成  
四半期実績は売上、利益、利益率ともに過去最高を更新

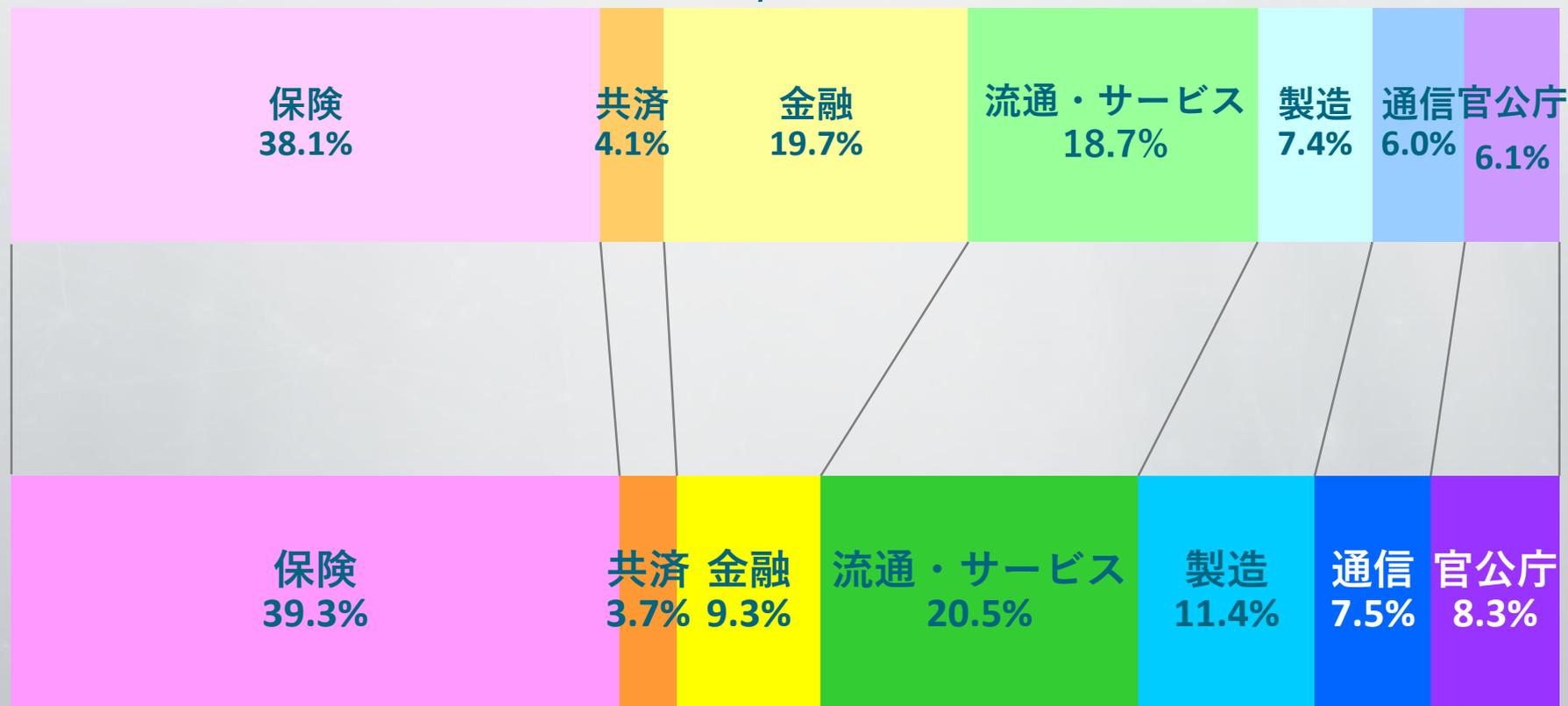
# I-3. 業種別売上高推移 (単体)

- 保険
- 共済
- 金融
- 流通・サービス
- 製造
- 通信
- 官公庁



# I-4. 業種別売上高比率（単体）

40期第2四半期 売上高合計 4,805百万円



41期第2四半期 売上高合計 5,171百万円

# I-5. 財政状態（連結）

## 連結貸借対照表

単位：百万円

		2019年9月期	2020年9月期 第2四半期	増減	増減要因
流動資産		3,836	<b>4,057</b>	221	(+) 売掛金、現預金
固定資産		1,257	<b>1,157</b>	△100	(-) のれん、投資有価証券
資産合計		5,093	<b>5,215</b>	122	
	流動負債	1,673	<b>1,617</b>	△56	(-) 未払金、買掛金
	固定負債	158	<b>138</b>	△20	(-) 繰延税金負債
負債合計		1,832	<b>1,755</b>	△77	
純資産合計		3,261	<b>3,459</b>	198	(+) 利益剰余金
負債純資産合計		5,093	<b>5,215</b>	122	

自己資本比率 **66.3%**

## Ⅱ. 2020年9月期 業績予想

## Ⅱ-1. 新型コロナウイルス感染症の影響

### IDC<sup>※</sup>調査

※ インターナショナルデータコーポレーションジャパン  
(業務内容) IT業界における市場調査及びコンサルティング

### 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した2020年国内ICT市場予測

- 4月3日公表  
28兆2,155億円（前年比△4.5%）内、ソフトウェア：前年比+4.0%
- 5月7日アップデート  
27兆8,357億円（前年比△6.1%）内、ソフトウェア：前年比+0.6%

一方

短期間で下方修正

- ◆ 先進企業中心にデジタルトランスフォーメーション投資が活性化
- ◆ 景気対策の一環として政府によるICT投資の選択的実行に期待

現時点で合理的見積り困難 ➡ 通期業績予想は据置

## Ⅱ-2. 2020年9月期業績予想（連結）

通期予想は据置

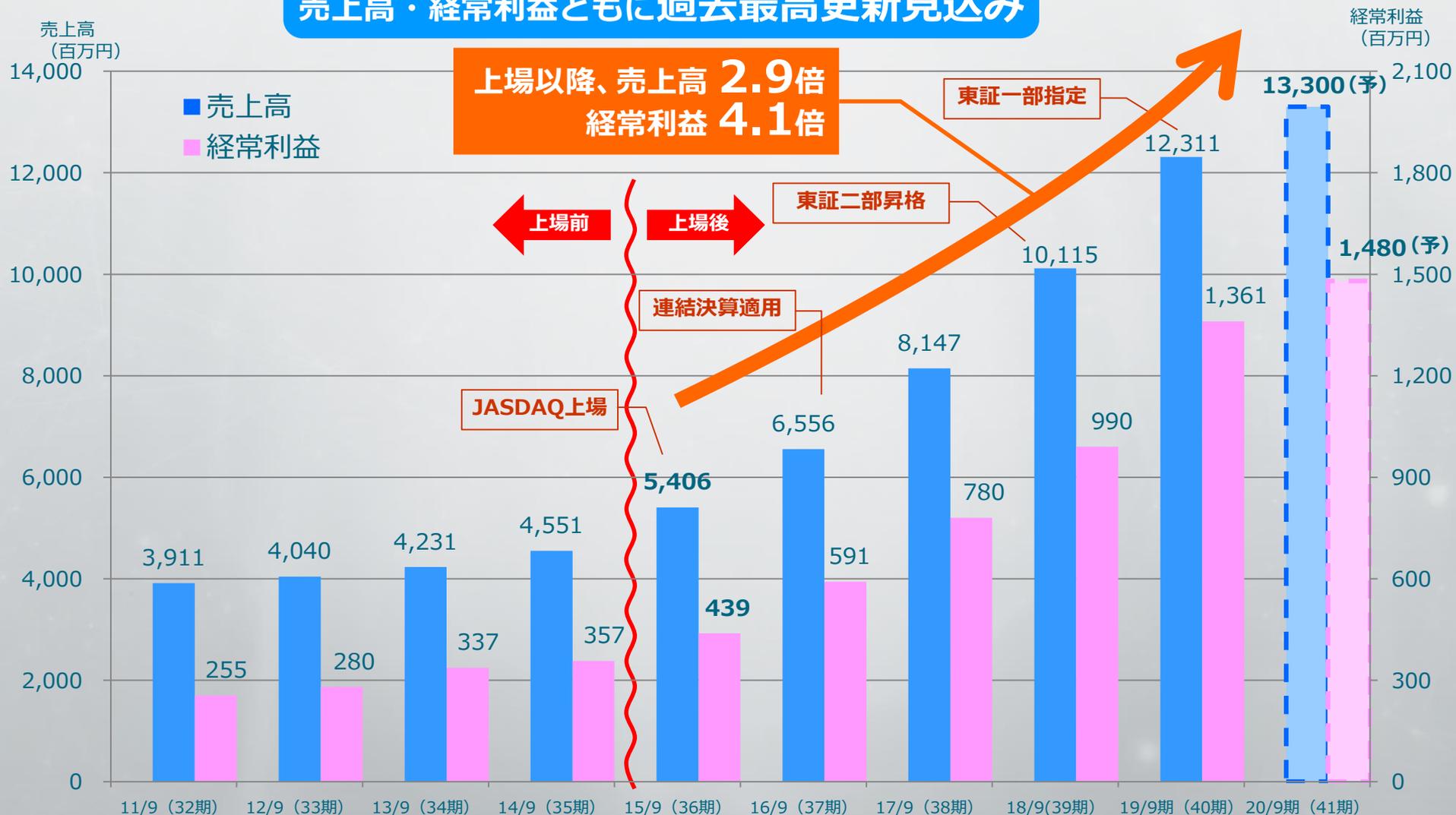
### 連結損益計算書

単位：百万円

科目	2019年9月期 (実績)		2020年9月期 (予想)		前期比 増減率
	金額	売上高比	金額	売上高比	
売上高	12,311	100.0%	<b>13,300</b>	<b>100.0%</b>	<b>8.0%</b>
営業利益	1,363	11.1%	<b>1,480</b>	<b>11.1%</b>	<b>8.6%</b>
経常利益	1,361	11.1%	<b>1,480</b>	<b>11.1%</b>	<b>8.7%</b>
当期純利益	917	7.4%	<b>1,000</b>	<b>7.5%</b>	<b>9.0%</b>
1株当たり 当期純利益	38.79	-	<b>42.79</b>	-	<b>10.3%</b>

## Ⅱ-3. 業績推移 (売上高・経常利益)

10期連続増収・9期連続増益  
 売上高・経常利益ともに過去最高更新見込み

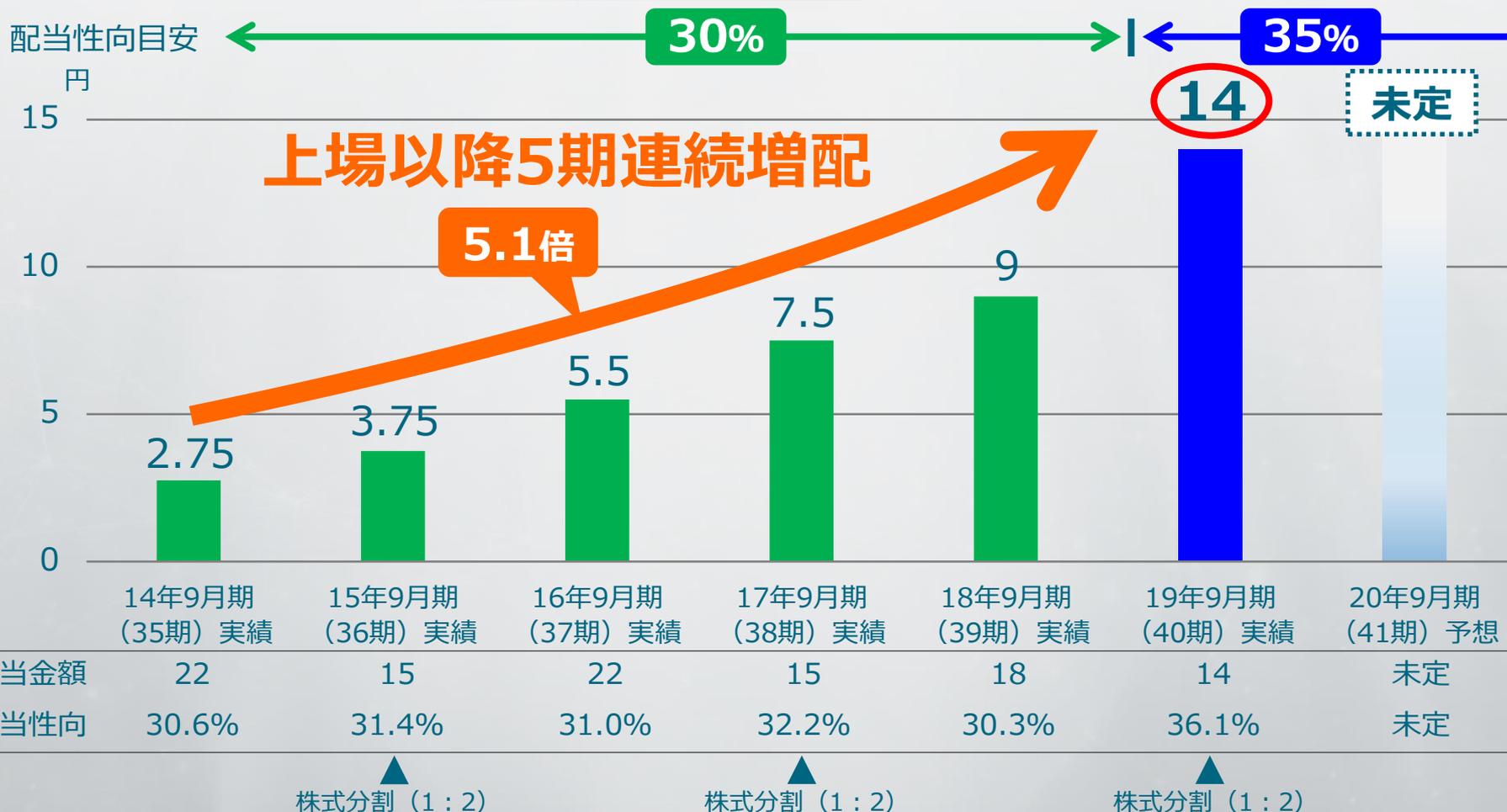


## Ⅱ-4. 従業員数推移

M&A及び積極的な中途採用の実施



## Ⅱ-5. 配当・株主還元の方針



注) 当社は、2015年7月1日に1株を2株の割合で、2017年6月1日に1株を2株の割合で、2019年5月1日に1株を2株の割合で株式分割を行っております。配当金額については、当該株式分割を考慮して算定しています。

**2020年9月期（第41期）の配当は未定とさせていただきます**



**Ⅲ. トピックス  
(2019年12月～2020年5月)**

## テレワークサービス『Telekumo』提供開始

- ◆ 「リモート会議」「ビジネスチャット」「ファイル共有」機能、端末の一元管理、「セキュリティ管理」機能等、テレワーク実現に必要な機能を搭載
- ◆ 「勤怠管理」や「スケジュール共有」、当社が独自サービスとして提供する「AI Meeting® \*1」等のリモートワーク効率化に向けたオプション機能を順次追加提供

<テレワークサービス『Telekumo』の主な特徴>



\*1

AI Meeting®は、会議やイベントにおける発話内容をAI音声認識技術により、高精度・リアルタイムに字句化（キャプション）する当社独自のソリューションで2018年2月9日から販売を開始しております。

\*2

Thinkumo Workspaceは当社子会社の株式会社シンクスクエアが提供する低コスト、高利便性の仮想デスクトップクラウドサービスです。

## 『Telekumo』 サービスプラン拡充

- テレワークの定着支援
- テレワーク活用による生産性向上や業務効率化を支援



- ◆ 仮想環境の構築業務は当社が対応
- ◆ オフィスと同等の業務遂行を可能にする機能をオプション設定

<Telekumoプラン説明>

Telekumo 基本プラン

1IDあたり月額 **15,000円**～※

【初期費用・テレワーク端末費用・アプリケーション利用料含む】

プランに含まれる内容

 仮想デスクトップ	 テレワーク端末
 端末管理	 Web会議
 チャット	 ファイル共有

※上記費用は30IDをご契約いただいた場合の金額となります。  
契約ID数やオプションの有無により、月額費用は変動いたします。



拡張オプション

 帳票電子化	 ワークフロー	 勤怠管理
 営業支援 (SFA)	 経費精算	 RPA
 AI	その他随時追加予定!	

お客様の働き方改革とBCP対応の両立を全面的にサポート

## Ⅲ-2. トピックス <ご参考>

今夏の予定

### 当社前会長が給付型奨学金支給のための財団法人を設立

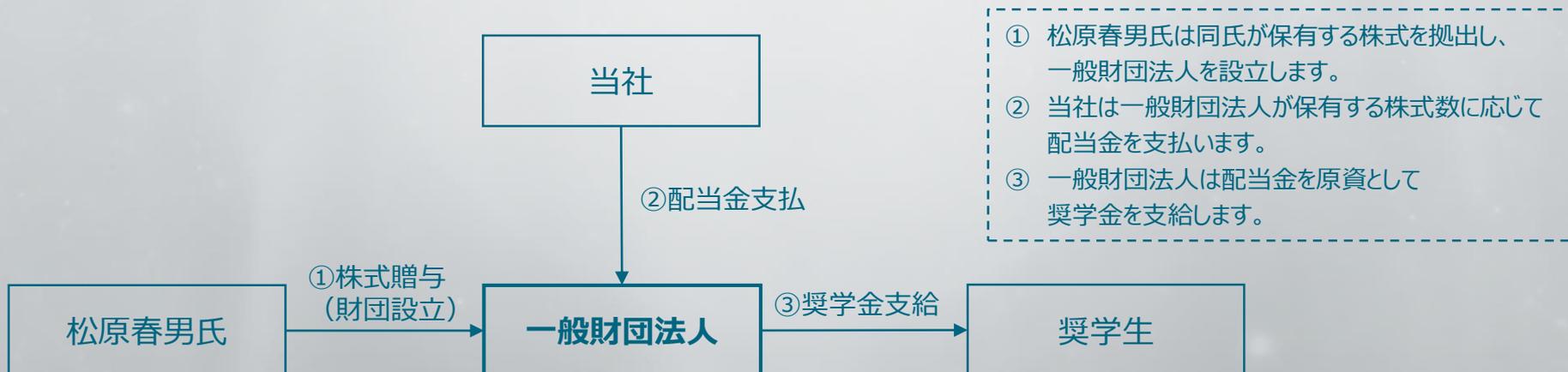
当社創業者かつ筆頭株主の松原春男氏

経済的に困窮している学生や、進学困難な若者を支援したいという強い思い

社会貢献の一環として一般財団法人を設立、**返還不要**の給付型奨学金を支給。

当社株式1,000,000株を財団に贈与

<一般財団法人設立と奨学金支給の仕組み>



## IV. ソリューションビジネスへの取組み



# IV-1. ソリューションビジネスへの取組み

## 当社が提供する主なサービス



AI・コグニティブ  
サービス  
Cognitive Services

- <具体的案件>
- ◆ 音声認識AIによるリアルタイム議事録作成
  - ◆ 画像・動画認識AIによる物体検知・物体認識
  - ◆ 知的財産探索AIによる資産検索
  - ◆ RPA（WinActor・SynchRoid・UiPath）
  - ◆ AI-OCR製品※1の販売開始

※1 RPA連動による企業向け請求処理自動化



情報セキュリティ  
サービス  
Security Services

- <具体的案件>
- ◆ セキュリティ製品※2の設計・導入サービス
  - ◆ セキュリティ運用監視（SOC）

※2 不正対策ソフトウェア、端末ログ収集、ファイル自動暗号化など



クラウドサービス  
Cloud Services

- <具体的案件>
- ◆ パブリッククラウドの移行・構築
  - ◆ ビッグデータ集積のための分析基盤の構築
  - ◆ Alibaba Cloudの販売パートナー契約締結

## IV-2. ソリューションビジネスへの取組み

### コンサルティングビジネスの拡大

2019年10月フィリピンのコンサルティング会社※と  
CMMI及びアジャイル関連サービスに関する協業を開始

※ SQME Professionals, Inc. : フィリピンにおける唯一のCMMI Instituteパートナー



当第2四半期、CMMIレベル5のアプリイザル  
案件をSQME社と共同で初受注



# V. 中期ビジョン

# V-1. 中期ビジョン～経営理念～

お客様の価値観を共有するパートナー

## Value Engagement Partner

システム情報（SIC : SYSTEM INFORMATION CO., LTD.）の掲げる経営指針（SI&C指針）

### SI&C 指針 ～私たちのあるべき姿～

**S**ervice

真の価値あるITサービス  
を提供する企業

**I**nnovation

デジタルシフトによる変革  
のリーディングカンパニー

&

**C**o-creation

共創型のビジネスにより  
新たな市場を創造する企業

# V-2. 中期ビジョン～成長戦略～

## DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進に向けて (提供するサービス)

### エコシステム※2

双方向型の  
互恵関係による  
コラボレーション

商 材  
(プロダクト・  
サービスなど)

サービス  
(コンサルティング、  
アセスメント・プロ  
セス体系など)

事業活動  
(生産・物流・  
販売など)



- ※1) SICP Advanced  
従来のSICPにデザイン思考、リーンスタートアップ、アジャイル開発等を付加した拡張型当社開発標準
- ※2) エコシステム  
複数の企業が商品活動や事業活動でパートナーシップを組み、互いの技術やサービス、資本を活かしながら業界の枠を超えて、広く共存共栄していくための生態系
- ※3) デザイン思考  
デザイナーがデザイン業務で使う思考方法のプロセスを活用して、ビジネスなどにおける前例のない問題や未知の課題に対して最も相応しい解決を図るための思考法
- ※4) アジャイル開発  
ソフトウェア工学において迅速かつ適応的にソフトウェア開発を行う軽量な開発手法群の総称
- ※5) DevOps  
開発 (Development) と運用 (Operations) を組み合わせた造語で、開発担当者と運用担当者が連携して協力する開発手法。自動化ツール等を活用し、そのビジネス価値をエンドユーザーに継続的に提供し続けるための概念
- ※6) ファシリテーション  
会議、ミーティングなどの集団活動による問題解決やアイデアの創造、教育や学習など、有能な人材の相互作用を促し、あらゆる知的創造活動を支援し、成果を出しやすい環境の構築を目的とした働きを意味する
- ※7) リンスタートアップ  
コストをそれほどかけずに最低限の製品や、最低限のサービス、最低限の機能を持った試作品を短期間で作り、顧客に提供することで顧客の反応を観察する方法

## <参考資料>

① 当社の概要

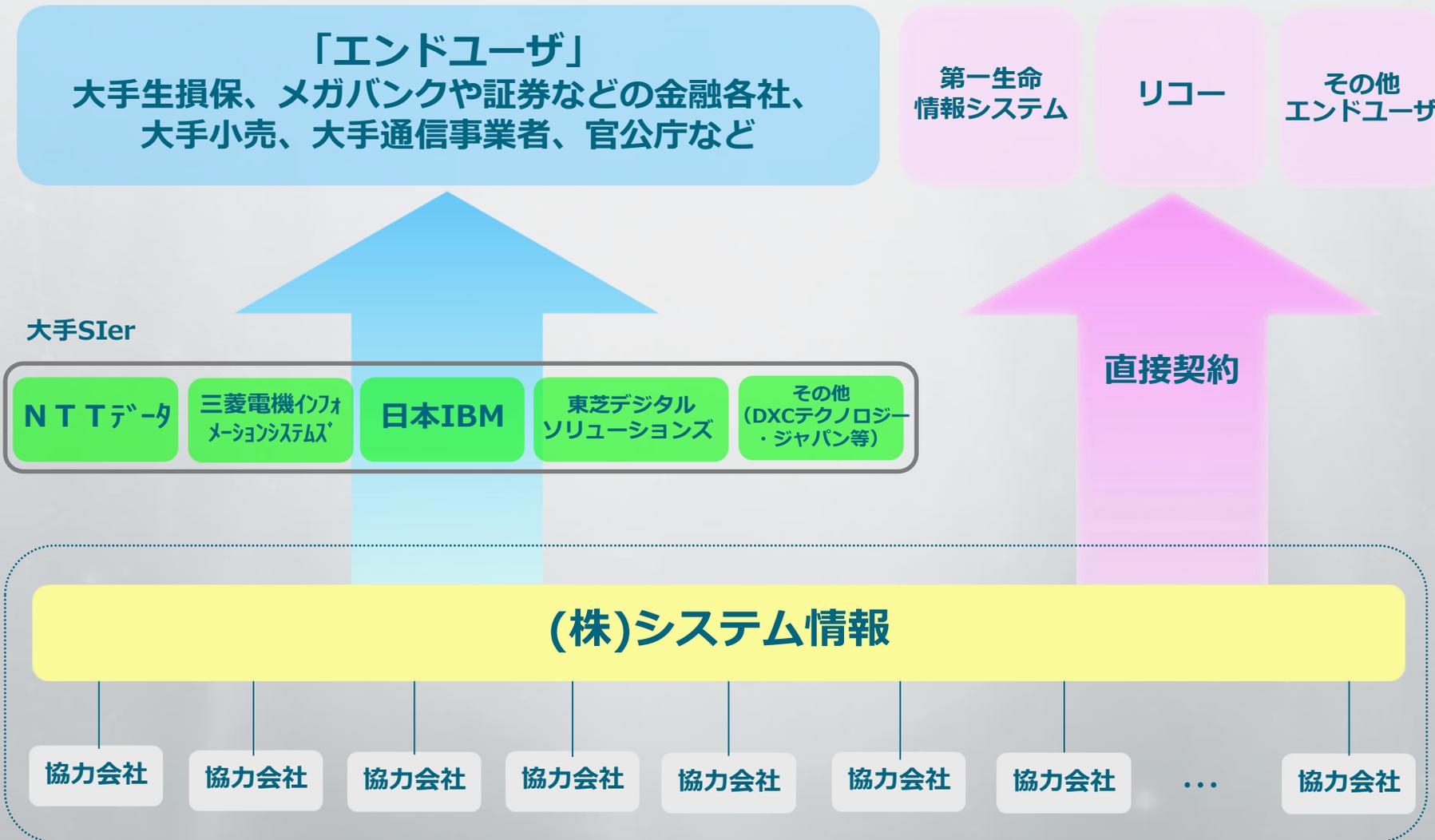
② 2020年9月期重点課題

# ①-1. 会社概要

社名	<b>株式会社システム情報</b>
設立	1980年（昭和55年）1月
事業内容	受託ソフトウェア開発
所在地	東京都中央区勝どき1-7-3 勝どきサンスクエア7階
資本金	502,636千円（2020年3月末現在）
代表	代表取締役社長 鈴木 隆司
主な株主	松原春男（13.7%）、（株）エイチエムティ（11.8%）、鈴木隆司（6.4%）、東京中小企業投資育成（株）（6.1%）、従業員持株会（2.3%）（2020年3月末現在）
主要取引先	NTTデータグループ、三菱電機インフォメーションシステムズ（株）、第一生命情報システム（株）、東芝デジタルソリューションズ（株）、日本アイ・ビー・エム（株）DXCテクノロジー・ジャパン（同）、（株）リコー、日鉄ソリューションズ（株）、日本光電工業（株）、日本ユニシス（株）
資格	<b>CMMI®レベル5</b> （2012年11月達成、2015年11月、 <b>2018年10月継続達成</b> ） ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム：ISMS）（2010年12月） ISO14001（環境マネジメントシステム）（2007年1月） プライバシーマーク（2005年12月）

# ①-2. ビジネスの構造

【敬称略】



# ①-3-1. 差別化の原動力 (CMMI®)

CMMI®・・・開発能力(成熟度)を評価する国際標準

米国カーネギーメロン大学 (CMU) のソフトウェア工学研究所 (SEI) が開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデル。組織のプロセス能力(成熟度)を5段階で評価し継続的な改善を促す、体系的なプロセス改善のためのモデル。現在ではソフトウェア開発能力を測る国際標準的な指標。

最高位レベル5に到達したプロジェクト管理力



# ①-3-2. 差別化の原動力 (CMMI®)

CMMI®レベル5 国内達成企業

2020年4月30日現在

## ◆株式会社システム情報

Software Development and Quality Management divisions

### ◆株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

Social Insurance First Generalization Section, Social Welfare IT Service Division, Public Sector

### ◆住友電気情報システム株式会社

Systems Solution Division 1st, 2nd and 3rd System Department

### ◆三菱総研DCS株式会社

System development Div. and Support Div. incl. projects supported by Touhoku Diamond Computer Service Co., Ltd. and HR Solution DCS Co., Ltd.

### ◆株式会社ジャステック

Software Development and related Departments

### ◆株式会社クロスキャット

Public System Division #1, Public Business Department

### ◆株式会社小野測器

Software Development Center

### ◆株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ

Embedded Software Development Group

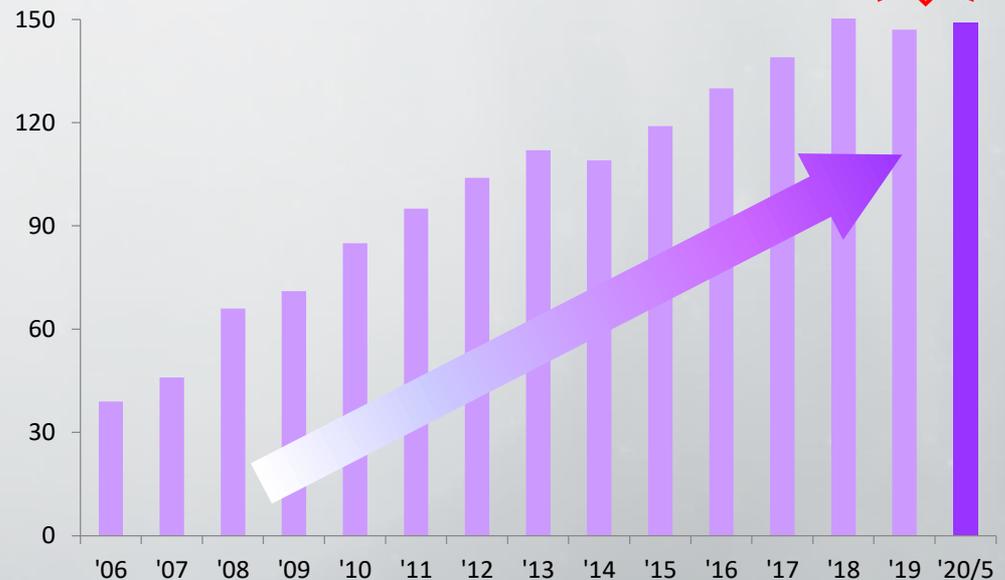
(注) 出典 : CMMI Institute 「Published Appraisal Results」 より

# ①-4. 差別化の原動力 (PMP®)

国際的資格 PMP® 保有者 群を抜く

米国 PMI (Project Management Institute) が認定するプロジェクトマネジメントに関する資格。  
PMIが発行する知識体系ガイド (PMBOK = A Guide to Project Management Body of Knowledge) に  
基づくプロジェクトマネジメントエリアに関する知識と理解度をはかることをその目的とする国際標準的な資格。

業界屈指のプロフェッショナル集団



# ①-5. 当社の強み

企業 : **CMMI® レベル5**  
(Capability Maturity Model Integration)

個人 : **PMP® 資格**  
(Project Management Professional)

お客様へ  
品質保証を担保

(グローバルな資格)

NTTデータと並ぶ  
資格保有率

149名※  
(30%)

※2020年5月26日時点

開発標準 [**SICP**]  
(SI&C System Integration Control Process)

ベースは  
当社独自の開発標準

プロジェクト管理の徹底を推進

# ①-6. グループ体制

## 当社グループ体制

合計  
**785名**

※2020年5月1日現在

### 株式会社システム情報

従業員数：508名

#### (株) エーエスエル

従業員数：204名  
(2015年10月買収時：46名)

#### (株) SIC デジタル※

従業員数：45名  
(2015年10月買収時：35名)

#### (株) シンクスクエア

従業員数：28名  
(2017年3月買収時：28名)

※2019年4月1日

関西システムソリューションズ (株) から社名変更

## ②-1. 2020年9月期の重点課題

### 安定成長に向けた取組み

SIer・エンドユーザとともにストックビジネス拡大に注力

ストックビジネス 長期間に亘って継続する案件

### 収益性向上への施策

プロジェクトレビューの実施（経営トップも参画、毎週実施）

プロジェクトの監視を徹底（問題点の把握、早急な対応）

不採算プロジェクト発生の未然防止

## ②-2. 2020年9月期の重点課題

### 人材の育成（資格取得支援体制の強化）

- PMP®資格取得率……………開発系社員の **50%超目標**
- 基本及び応用情報技術者…開発系若手社員 **必須目標**
- 高度情報技術者……………開発系中堅社員 **必須目標**

### 採用計画

グループ全体で**100名採用目標**

**実績：139名**（2020年5月1日時点）：**目標超過**

**本資料には、当社の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。**

本資料に記載されている社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。

<IRに関するお問合せ>  
株式会社システム情報 経営管理部  
電話番号：03-5547-5705  
E-mail：ir@sysj.co.jp